

八千代ロータリークラブ創立50周年記念誌

YACHIYO ROTARY CLUB

国際ロータリー第2790地区 第11分区 No.15070



50th anniversary
50年、そして未来へ

Rotary 

歓迎の言葉



第50代会長
風間 茂

本日、八千代ロータリークラブ創立50周年記念式典に国際ロータリー第2790地区ガバナー 青木貞雄様、八千代市長 服部友則様、地元八千代市選出の衆議院議員 小林鷹之様、同じく参議院議員 豊田俊郎様はじめとする多くのご来賓、地区内ロータリアンの皆様、公私共にご多用の中をご臨席賜り誠にありがとうございます。会員を代表して心より感謝すると共に厚くお礼申し上げます。

私は八千代ロータリークラブ第50代会長を務めます風間でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、八千代ロータリークラブは八千代市が市制施行した1967年の5月12日創立会員35名で習志野ロータリークラブをスポンサークラブとして県内34番目のクラブとして誕生しました。以来半世紀にわたる中、ただ一人になってしまったチャーターメンバーの宮野宗雄会員をはじめとする先輩諸兄により「奉仕の理想」を求めて様々な奉仕活動がなされ、本日めでたく創立50周年を迎えることができましたことを、この上ない喜びとともに深く感謝申し上げる次第でございます。

本年度ジョン F. ジャーム RI会長は「人類に奉仕するロータリー」を提唱し、国際ロータリー第2790地区青木ガバナーは地区行動指針を「感謝と挑戦」としました。

これまでのロータリーの活動は『陰徳の美』として尊重され、PR活動には消極的でした。しかし2011年RI戦略計画の中で『公共イメージと認知度の向上』を掲げ、クラブや地区、そしてRIの奉仕活動を最大限PRし広報活動を強調することになりました。そこで当クラブテーマを『“親睦・奉仕 50年”発信するロータリーへ』と致しました。

今年度新たな社会奉仕事業として、八千代市で第19回を数える『ニューリバーロードレース in 八千代』という市の中心部を南北に流れる市のシンボルでもある新川沿いをメインコースにした5千人規模の大会に協賛し、大会当日に八千代ロータリークラブの幟旗を立てた中でミカンを配り大変好評でかなり効果的な広報活動になったと思います。そしてこれからも地域に根ざしたクラブでありたいと願い、50周年記念事業として八千代市消防本部に軽自動車を寄贈させていただきます。

また、創立50周年行事のテーマを『50年、そして未来へ』として本日を境に『ロータリーの目的』を目指し更なる100年へ向けて新たなる一歩を踏み出していく所存でございます。本日ご臨席の皆様方にはこれからも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに本日ご臨席賜りました皆様方の益々のご健勝ご多幸をご祈念申し上げお礼と歓迎の言葉とさせて頂きます。本日は誠にありがとうございました。

創立50周年にあたり

創立50周年
大会会長

櫻井 豊

八千代ロータリークラブ櫻井豊でございます。昭和9年11月生まれ、八千代クラブでは最長老ということで、創立50周年にあたり、ごあいさつ申し上げます。



本日、クラブ創立50年を迎えるにあたり、皆様方にご案内を差し上げましたところ、八千代市長服部友則様、八千代市議会議長成田忠志様、衆議院議員小林鷹之様、参議院議員豊田俊郎様、2790地区ガバナー青木貞雄様はじめ、多くのお客様にご臨席を賜りました。厚くお礼申し上げます。

昭和42年5月わが八千代クラブは、習志野クラブを親クラブとして、県内で34番目のクラブとして誕生いたしました。設立当初、現在のように1県毎に地区があったのではなく、東京、沖縄、埼玉、千葉が一つの地区になっているという状況でした。何故そうだったのかについては、今は知る由もありませんが、東京以外にロータリークラブの数が少なかったことはあったと思います。

そんな時期に八千代町(当時)が市制に施行するに際して、習志野クラブ田中聖賢特別代表の指導の下、八千代クラブは誕生いたしました。

当時を知る人は、本日も現役として参加している、チャーターメンバーである宮野宗雄氏だけになりましたが、いずれのメンバーも個性的で人間味あふれた方が多かったと思います。そしてロータリーのことを一生懸命勉強し、八千代にロータリークラブを根付かせていったのです。

特に、クラブ創立後わずか11年目にして、鈴木憲輔氏が2790地区ガバナーとなったのをはじめ、6名の分区代理(当時はそう呼んでいた)2名のガバナー補佐を輩出するなど、ロータリークラブにおける様々な活動を精力的に行ってまいりました。

そういう先輩たちの努力のおかげで、本日ここに創立50周年という節目を迎えることができました。このことは私たち八千代ロータリークラブのメンバーにとって、この上ない喜びであると同時に、今後次の50年、つまり創立100年に向けてのスタートにできればと願っております。

今後も八千代ロータリークラブは、ロータリークラブの原点である奉仕の理想を求めて日々努力してまいります。皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



50年の歴史にお礼と感謝

創立50周年実行委員会
委員長

渡邊 敏美

八千代ロータリークラブ創立50周年記念実行委員長
を務めます渡邊と申します。

本日は月末の土曜日、何かとお忙しい中、国際ロータリー第2790地区第11分区八千代ロータリークラブ、創立50周年記念式典に八千代市長服部友則様、八千代市議会議長成田忠志様、衆議院議員小林鷹之様、参議院議員豊田俊郎様はじめ多くのご来賓の皆様、青木貞雄ガバナー以下パストガバナーの皆様方、ガバナーエレクト寺島哲生様、ガバナーノミニー橋岡久太郎様、ガバナーノミニーデジグネット諸岡靖彦様、そのほか近隣クラブから多くのロータリーの仲間にご臨席を賜り、記念式典を挙行できますことに対し、心より感謝申し上げます。

当クラブは昭和42年、習志野ロータリークラブをスポンサークラブとして創立以来、地域の皆様をはじめ、多くのロータリアンに支えられて今まで50年の歴史を刻んでまいりました。

ロータリークラブが誕生して100余年、時代の変革と共にロータリークラブが、本来の目的を見失っているのではということが言われている昨今、50年という節目に、これまで積み上げてきた歴史を振り返り、今一度原点に立ちかえりロータリーを見直すことが必要と考え、八千代ロータリークラブでは、今回50周年事業のテーマを【50年!!そして未来へ】といたしました。

創立当初35名でスタートし、幾多の困難を乗り越え、ロータリーの崇高な精神を引き継いで、現在までこられた先人に敬意と感謝を表するとともに、ロータリークラブの新しい時代に向かってスタートしようとするものです。

本日はこれまでお世話になりました皆様へのお礼と感謝の気持ちを込めて、八千代ロータリークラブ風間会長以下総出で、このイベントを企画し、準備を進めてまいりました。皆様におかれましては存分にお楽しみいただきたいと存じます。

しかしながら何分不慣れの為ご案内席次等、諸事行き届かない点があろうかと思いますが、ロータリーの友情に免じてご容赦いただければ幸いです。

第1部記念式典に続きまして、第2部諏訪中央病院名誉院長鎌田實先生による「地域医療から学んだ経営戦略」と題しましての記念講演会、そして祝宴と続きます。どうぞ最後までお付き合いで下さいようよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、約2年に渡り、50周年事業の準備を進めてくれた、実行委員会各担当の皆さんに心からのお礼を申し上げ、挨拶といたします。

八千代市ロータリークラブ 創立50周年を祝して

八千代市長
服部 友則

このたび、八千代ロータリークラブが創立50周年を迎えたことを心からお祝い申し上げます。

風間会長をはじめ、ロータリアンの皆様には、日頃より八千代市政に対しまして多大なるご支援とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

貴クラブにおかれましては、昭和42年に創立されて以来、「奉仕と親睦」を掲げられ、毎年ご協力いただいている交通安全キャンペーンをはじめとする社会奉仕活動によって、社会福祉の向上や青少年の健全育成など広く地域社会に貢献され、また、会員相互の親睦を深められております。創立から半世紀にわたる長い歩みの中で、輝かしい伝統を築かれ、八千代市のまちづくりを支えられながら、今日を迎えられましたことは、歴代の会長並びに会員の皆様方のご尽力の賜物と、改めまして深く敬意を表します。近年では、日本サッカー協会による「こころのプロジェクト・夢の教室」を本市に招へいいただき、子どもたちにとってプロのスポーツ選手から夢を持つことの素晴らしさを直接お話しいただける貴重な機会を与えていただいております。また、本日は本市消防業務に供するための軽自動車を寄贈いただけたと伺っており、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

経営者として精力的に企業活動を営まれているロータリアンの皆様におかれましては、深い洞察力と強力な実践力を以て各界を指導され、本市経済の活性化に大きく寄与されており、地域経済の牽引役として益々ご活躍されますことを期待する次第です。

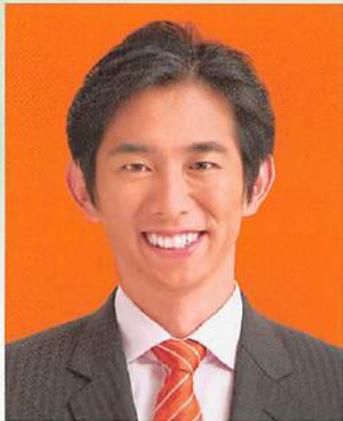
本市におきましては、貴クラブが設立されました昭和42年に市制を施行し、本年1月1日を以て、同じく50周年を迎えました。市制施行当時の41,574人から現在では約19万6千人となるなど、活気あふれる街へと成長してまいりました。今後もおよそ10年は人口が増え続ける見通しであり、近い将来、20万都市になると見込んでおります。

また、平成4年にスタートした本市とアメリカ合衆国テキサス州タイラー市との姉妹都市交流は、本年で25周年という節目の年を迎えます。来る10月にはタイラー市からの親善訪問団を八千代市国際交流協会とともに受け入れる予定であり、両市の友好関係をさらに深め、将来にわたり継続させてまいりたいと考えております。

このように、大きな節目を迎える本年を契機として、「緑豊かな環境で、安心して子育てができる八千代市に」を基本とし、乳幼児から高齢者までが安心して暮らせる八千代市の実現に向け邁進してまいりますので、貴クラブの皆様には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、八千代ロータリークラブのご繁栄と、ロータリアンの皆様の今後益々のご活躍をご祈念申し上げましてお祝いの言葉といたします。





創立50周年に寄せて

防衛大臣政務官
衆議院議員

小林 鷹之

八千代ロータリークラブが創立50周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴クラブは奉仕の理念に基づき、50年という長きに亘り、各界の方々との連携を図りながら、様々な活動に積極的に取り組まれ、八千代市の発展のために多大なる貢献をされてきました。歴代会長をはじめ会員の皆様方のご努力に敬意を表します。

貴クラブの活動の中でも、小学生を対象とした「夢先生」の授業は、子ども達のためだけではなく、その子ども達の親や教師の皆様にとっても素晴らしい経験になる企画だと思います。また、八千代市は、平成40年までは人口増加が続くとの統計もあり、今後も発展を続けていくためには、将来の八千代市ひいては未来の日本を担う子ども達のためにも、貴クラブの活動は重要性を増していくと思います。

さて、貴クラブとは、まだ国会議員になる前に、「政治の師」として尊敬している江口一雄先生のご紹介でご縁を頂きました。当時、役所を辞めて政治家になるための活動を始めたばかりの私に卓話の機会を頂き、海外から見た外交官時代(2007~2010)当時の日本の姿と共に、特定の党派の視点ではなく、若い世代の視点から「政治への志」を語らせて頂きました。その際に受けたロータリアンの皆様の懐の深さへの感謝の念は今も変わりません。

それから約6年が経った現在、皆様からのご指導・ご支援により、2期目の衆議院議員として、また昨年8月より防衛大臣政務官として、わが国の領域と国民の生命財産を守り抜くために職務に邁進しています。

最後に、今年度は風間新会長の下で、「“親睦・奉仕50年”発信するロータリーへ」をテーマに活動されていると伺っております。本年は、八千代市制施行50周年でもあり、八千代市と共に貴クラブが更なる発展を遂げられますと共に、私も八千代市選出の国会議員として八千代市の繁栄のために尽力して参ります。

半世紀の奉仕活動に敬意

内閣府大臣政務官
参議院議員

豊田 俊郎

八千代ロータリークラブが創立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。歴代の会長、役員の皆様はじめ会員の皆様方の半世紀にわたる奉仕活動に深く敬意を表します。

八千代ロータリークラブが創立された昭和42年(1967年)は八千代市が市制を施行した年でもあります。人口はわずか4万2千人でした。今八千代市の人口は19万6千人。市制施行50周年を迎えた。八千代市がここまで発展を遂げてこられたのも八千代市の商工業の中核を担ってこられたロータリークラブの会員の皆様方のご尽力の賜物であり、深く感謝申し上げる次第です。

会員の皆様方の会社のご発展に加え、八千代ロータリークラブとしての活動は多くの市民に評価され、また感謝されております。

八千代ロータリークラブでは様々な活動を行っておりますが、その中に卓話例会があります。国内外の情勢はじめ、先端技術、福祉・環境問題、会社経営などを毎回のテーマとして、専門分野の講師を招いて行うものです。

毎月行われている卓話例会に私も参加させていただいたことがあります、和やかな雰囲気の中にも真剣に課題に取り組む進取の姿勢がうかがわれました。この姿勢が八千代ロータリークラブの発展を支えているものと思います。本当に素晴らしいクラブだと思います。

また、ロータリークラブの信条である「奉仕の精神」は街づくりにおいても大きな役割を果たしてまいりました。私が八千代市長を務めていたときにも、八千代ロータリークラブの皆様方には八千代市の街づくりにご協力を頂く一方、東日本大震災の時には救援活動や救援物資・寄付金の提供などをいただきました。迅速な温かい支援には改めて感謝申し上げる次第です。

私は皆様方のご支援をいただき4年前の参議院議員選挙で当選し国政の場に送っていただきました。今、安倍内閣において内閣府大臣政務官を拝命しております。内閣府の仕事は国民生活に深くかかわる重要課題に関し企画立案・総合調整など広範多岐にわたっております。地方創生にも携わっておりますので八千代市の発展の為全力で応援をさせていただく覚悟です。

また、ロータリークラブの皆様方とともに国際親善など友好事業にも努めてまいる所存です。

八千代市はまだまだ発展する可能性を秘めています。これからも、八千代市の活性化、発展のためロータリークラブの皆様方にはご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

風間会長のもと、八千代ロータリークラブの益々のご発展と皆様方のご健勝ご活躍をご祈念申し上げ、創立50周年にあたりお祝いの言葉とさせていただきます。





創立50周年を祝して

国際ロータリー第2790地区
2016-17年度ガバナー

青木 貞雄

八千代 RC(ロータリークラブ)の皆様には、創立50周年、おめでとうございます。皆さんのクラブが、創立以来半世紀となる節目を迎えたことを寿ぎ、心よりお慶びを申し上げます。

私が、世の中のイロハも分からなかった社会人になって2年目の1967年、習志野 RC をスポンサークラブとして日本で 803番目に設立された八千代 RC は、当地区では 35 番目に長い歴史と輝かしい伝統を誇るクラブです。

創立当時の日本は、資本自由化による開放経済がスタートした時期で、「いざなぎ景気」と称された好景気を反映し、前々年度の1965年から1967年にかけての3年間に、八千代 RC を含めて 13 のクラブが当地区に誕生しました。

35名でスタートされた活動は、最盛期に会員が74名に達したようですが、現在も当地区では大型クラブに属する会員数50名で、そのうち70歳未満が3分の2を占める等、年齢及びロータリー歴の両面で、会員構成が望ましく分布されています。

50年間に亘る長い歴史の中で、代々の仲間の引継ぎを通じ、ロータリーの基本理念に則った活動を追求する中で、スポンサークラブとして、1971年に佐倉 RC、1981年に八千代中央 RC を誕生させると共に、ふる里親子祭り、ロードレース、少年野球大会支援、そして、近年は、八千代中央 RC と共同で日本サッカー協会の協力を得た小学生に夢を与える「ユメセン(夢先生)授業」を開催する等、地域に密着した数多くの奉仕活動を展開してこられました。また、青少年交換・R(ロータリー)財団奨学生派遣等の青少年育成活動にも積極的に取組むと共に、これら奉仕活動の原資となるR財団・R米山記念奨学会への寄付、更には、里親制度「コスマス奨学金」等に大いなる貢献をされています。

例会は、落ち着いた大人の雰囲気で、ピアノの生演奏によるロータリーソングの後に、全員で月別「童謡」を合唱する等の工夫がなされ、半世紀に亘る伝統の重みを感じさせる運営です。

米国・日本等の会員が減少する一方、インド・韓国・ブラジル等の会員増もあり、新しい時代を迎えた国際ロータリーは、昨年4月の規定審議会で、標準ロータリークラブ定款等の大幅改定を決議しました。これは、社会の変化、地域特性等に呼応してクラブに運営の裁量権を与えて活動活性化を目指すもので、ロータリーの基本理念、中核的価値観等を変えることなく、クラブ運営の責任をクラブに委ねるものです。八千代RCの皆さんには、50年の輝かしい歴史の上に立脚した、ロータリーの基本理念に基づく活動を今後とも追求し、風間会長が提唱する、「楽しくなければロータリーではない。楽しいだけではロータリーではない。」の精神に沿って、明るく生き生きとしたクラブ活動を展開し、創立75周年、また、創立100周年に向けて発展されることを祈念申上げ、私の祝辞と致します。

本日は、誠におめでとうございます。

更なる活躍を

習志野ロータリークラブ
会長

嶋崎 正幸

八千代ロータリークラブの創立50周年おめでとうございます。そして会員の皆さんに心よりお祝いを申し上げます。



八千代クラブさんは昭和42年、八千代市が施行された同じ年に創立され、八千代市とともに市の発展に尽力され、地域に根付いたロータリー活動を続けてこられました。

そして、この50年という歴史の成果として、八千代市の各所に新しい街並みが出現し、緑豊かな自然と融合した街が出来上がってきたものと思います。

特に、八千代クラブさんの例会場がある緑ヶ丘の駅前や八千代中央駅前は、さらに美しく都会的な景観が広がっています。

この八千代クラブさんの活躍は地域だけでなく、ロータリークラブの財団、基金への寄付、そして米山奨学生や財団奨学生の受入れや派遣などに多大な実績を残し、今でも大きな貢献をされています。

八千代クラブさんの実績、誇るべきことは数え上げたらきりがないのですが、もう一つ挙げるなら、私ども11分区にある7クラブの内、佐倉クラブと八千代中央クラブの2クラブの創立を手掛けたスポンサークラブでもあります。

今、私は八千代クラブさんのスポンサークラブという立場で祝辞を述べていますが、こうした八千代クラブさんの活躍を見ていますと、すでに子は親を超える、マラソンに例えるなら、はるか先を走るランナーの背中を追う心境に近いものがあります。

八千代クラブ・風間会長の今年のテーマは、「“親睦・奉仕50年”発信するロータリーへ」ということで、まさに言葉通り、人々と我が道を行きつつ、周りの人々に親睦・奉仕の道を説く、ロータリアンの風格がにじみでる言葉ではないかと思います。

ロータリーは今、ジョン・F・ジャームRI会長の言葉を借りれば、歴史的な節目を迎えています。そして、青木ガバナーも、会員数の減少を憂い、ロータリーの根幹が問われる規定変更、つまり定款・細則の変更などがあり、ロータリーの新しい在り方が模索される時代になったと言われています。

その中で、八千代クラブさんがそして同じ11分区の習志野中央クラブさんも50名を超える会員数を維持し、元気なところを見せてくれているのは、ここに出席された各クラブの皆さんに、大きな刺激を与えてくれるのではないでしょうか。

どうか、この50周年を契機に、さらに多くの「価値観を分かち合える」人たちを見つけ、その人たちと共に、“人類に奉仕するロータリー”を実践していただければと思います。
本日はおめでとうございます。



素晴らしい出会いの50年

チャーターメンバー

宮野 宗雄

チャーターメンバーの宮野でございます。本日は、ご来賓並びに県内各地のロータリアンをお迎えして、ここに創立50周年式典を祝う事ができますことは、私どもにとって最も喜びとするところであります。しかもこのような席でただ一人チャーターメンバーとして表彰を戴けることはこの上ない喜びであります。

今から50年前に私ども八千代ロータリークラブは日本国内で804番目、千葉県内で34番目のクラブとして誕生しました。20世紀から21世紀と大きな時代の変化の中で50年という歴史を刻み込んできました。

私は今から50年前、幸運にも山本靖郎氏より、君も若くして社長になったばかりで八千代にも知り合いもいないだろうから昼飯を食べる会があるから是非来るようにと誘われ同じ業界の大先輩のお誘いでもあり伺ったのが習志野ロータリークラブの記念行事だったと思いますが谷津遊園で初めて参加したのが始まりでした。

このような経過で幸運にも弱冠29歳でロータリーに入会することができました。

50年を振り返ると、大勢の素晴らしい方々との出会いがありました。いろいろな人に背中を押してもらって一歩一歩、時には寄り道をしながら、時には道に迷ったりしながら歩いて来た50年、そんな迷ったときに必ず誰かが助けてくれた、そんな50年間のロータリー人生でした。お陰様で若僧の世間知らずの経営者が何とか次世代へとバトンを渡すことができ感謝の一言です。私にとって素晴らしい出会いと、悲しい別れが数多くありました。

この50年のロータリーライフにより、素晴らしい先輩、友人に恵まれ、よく学び、よく遊び、私の環境や視点が大きく広がり自分の人生が2倍にも3倍にも広がったといつても過言はありません。今思うとこの50年間多くの人脈が出来、貴重な助言、ご指導を頂き、まさに吉川英治の言葉にある「居るところを楽しむ。われ以外皆師なり」の通り私の人生にも、社業にも大きな影響を与えてもらいました。

温故知新50年前の熱き心を持ち続け更に75年100年とこのクラブが発展することを祈念し最後に能田健一さんの寄稿された文章を紹介し締めさせていただきます。

初心 是非の初心忘れるべからず

時々の初心忘れるべからず

老後の初心忘れるべからず

初心とはその道を貫かんとする強烈な情熱と、将来の成長をはらむ無限の可能性をいう。ロータリーの運動は多面であって開発すべき活動の分野はあまたあると思われるが我々は「職業奉仕」と言う根本に絶えず立ち返るべきである。

以上能田健一さんの寄稿文の一部分ですが、貴重な教えと受け止め、50周年を迎える初心に戻りロータリー生活をより意義あるものにしたいものです。

ロータリーとは

❖ ロータリーの誕生とその成長 ❖

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士“ポール・ハリス”はこの風潮に堪えかね、友人3人と語り合い、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリー・クラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴ・ロータリー・クラブが誕生しました。それからは志を同じくするクラブが次々各地に生まれ、国境を越えて、今では世界200以上の国と地域に広がり、クラブ数34,578、会員数1,185,074名(2013年7月1日RI公式発表)に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んじる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々まで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

❖ 日本のロータリー ❖

わが国最初のロータリー・クラブは1920年(大正9)10月20日に創立された東京ロータリー・クラブで、翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリー・クラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ、初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われ、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚しいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。

現在、日本全体でのクラブ数は2,281クラブ、会員数88,526名(2014年2月末現在)となっています。

❖ ロータリーの目的 ❖

ロータリーの目的は、意義のある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち。役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

❖ ロータリアンの行動規範 ❖

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

The Four-Way Test

Of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH ?
2. Is it FAIR to all concerned ?
3. Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIPS ?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

ロータリー加盟認証状



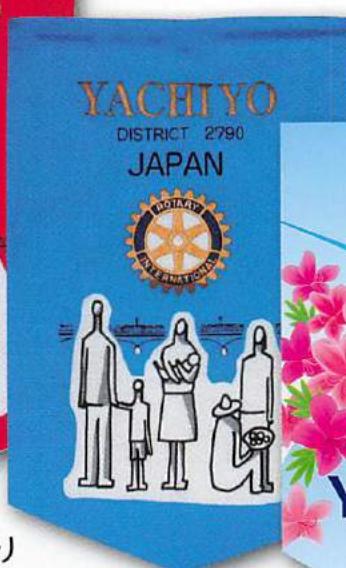
クラブバナーの変遷



創立より1986年まで



1986年より



YACHIYO
ROTARY CLUB
RID.2790

2014年より

RI会長メッセージ

Rotary 

John F. Germ
President, 2016-17

T +1 847 866 3025
F +1 847 866 3390
john.germ@rotary.org

2017年6月19日

八千代ロータリークラブ会員の皆さんへ

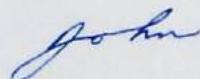
八千代ロータリークラブの創立50周年に際し、心よりお慶び申し上げます。

ロータリーの一員なら誰もが抱く特別な感情があります。それは、自分の行いによって誰かを幸せにできたという実感です。私たちはともに奉仕し、人びとがより良い人生を送れるよう支援してきました。今日、世界はこれまでよりもロータリーを必要としています。今こそ、これまでの成功を土台として、ボリオの撲滅に力を注ぎ、より良い世界を築く力としてロータリーをさらに飛躍させるときが来ています。

世界に34,000以上あるクラブは、それぞれに個性があります。クラブが成功するかどうかは、その強さ、会員、奉仕への意欲など、多くの要素によって決まります。設立以来、貴クラブは地域社会でロータリーを代表し、「超我の奉仕」を実践してこられました。この機会に、クラブのこれまでの達成を振り返り、新たな目標を掲げてさらに邁進していただけることを願っております。

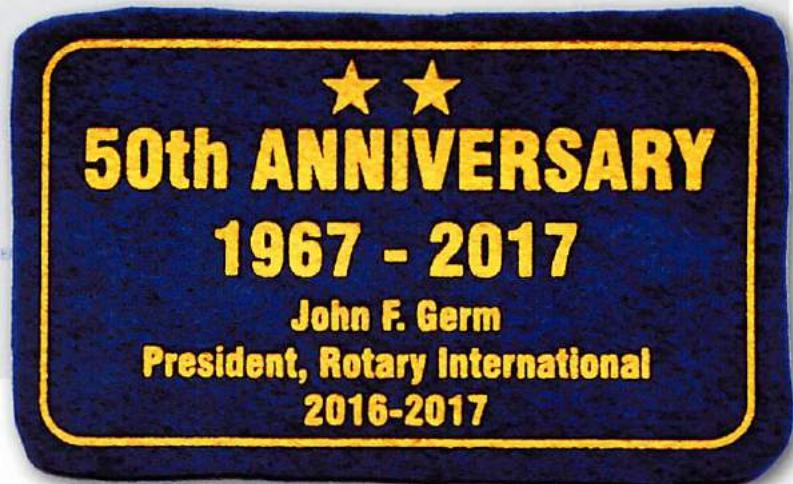
重ねて、創立50年の節目をご祝福申し上げます。今後も「人類に奉仕するロータリー」の一員として末永いご発展をお祈りしております。

心をこめて



2016-17年度国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

ONE ROTARY CENTER 1560 SHERMAN AVE.
WWW.ROTARY.ORG



八千代市紹介

われらの地域社会

八千代市は、千葉県北西部の葛南地域に位置する市、人口約19万人、6位の市原市に次いで県内第7位の市である。住宅団地発祥の地として知られており、現在も東葉高速鉄道沿線を中心に宅地開発が行われている。(東京都地区別区部へ通勤率は 26.6%)

面 積	51.39Km ²
人 口	総数 196,566 人 男 94,384 人 女 99,182 人(平成29年4月30日現在)
変 遷	昭和29年 1月 千葉郡大和田町と千葉郡睦村が合併、千葉郡八千代町 <新設> 昭和29年 4月 八千代町の一部(安生津)を千葉郡幕張町へ 昭和29年 9月 印旛郡阿蘇村を編入、千葉郡八千代町 昭和31年11月 八千代町井野の一部を佐倉市へ 昭和42年 1月 市制施工、八千代市(千葉郡消滅) 昭和44年10月 佐倉市上志津の一部を編入、千葉市横戸町の一部を編入、 勝田の一部を千葉市へ 昭和47年12月 千葉市横戸町の一部を編入 昭和50年 7月 佐倉市西志津の一部を編入、勝田台の一部を佐倉市へ 平成13年 6月 印西市船尾の一部を編入、佐山の一部を印西市へ 平成24年 1月 印西市船尾の一部を編入、堀の内の一部を印西市へ
交 通	京成電鉄 八千代台駅・京成大和田駅・勝田台駅 東葉高速鉄道 八千代緑が丘駅・八千代中央駅・村上駅・東葉勝田台駅 他に京成バス・東洋バス・新京成バス
産業総数	5,173 事業所(事業所・企業統計調査)
主な産業	農業 米・野菜・果実・花・植木栽培など 工業 上高野・八千代・吉橋工業団地を含む 農林漁業 16 事業所 建設業 483 事業所 製造業 360 事業所 電気・ガス・熱供給・水道業 4 事業所 情報通信業 39 事業所 運送業・郵送業 129 事業所 卸売・小売業 1222 事業所 金融・保険業 76 事業所 不動産業・物品貯貸業 333 事業所 学実研究・専門・技術サービス業 170 事業所 宿泊業・飲食サービス業 738 事業所 生活関連サービス業・娯楽業 603 事業所 教育・学習支援業 259 事業所 医療・福祉 480 事業所 複合サービス業 16 事業所 サービス業(他に分類されないもの) 256 事業所
教 育	市立小学校 23 校 市立中学校 11 校 私立中学校 2 校 県立高等学校 3 校 私立高等学校 3 校 養護学校 1 校 大 学 2 校

クラブの概要

ク ラ ブ 名	八千代ロータリークラブ第2790地区 第11分区 №15070
区 域 限 界	千葉県八千代市
創 立 日	1967年5月12日
R I 正式加入	1967年5月19日
認 証 状 伝 達 式	1868年4月21日
ス ポ ン サ ー ク ラ ブ	習志野ロータリークラブ
創 立 会 員 数	35名
例 会 場	〒276-0049 八千代市緑が丘1-1-1 公園都市プラザ1F パソコンヴィータ内 TEL 047-459-5806 FAX 047-450-0050 メールアドレス yachiyo.r.c@yachiyo-rc.com
例 会 日	毎週金曜日 12時30分～13時30分
現 在 会 員	51名
最 年 長 者	82歳
最 年 少 者	38歳
平 均 年 齢	65歳

2016~2017年度 当クラブから八千代市に協力されている方

八千代市社会福祉協議会	櫻井 豊
八千代市献血推進協議会	葉山 哲夫
八千代市ふるさと親子祭実行委員会	宮田 憲吾
八千代市子ども人権ネットワーク	君塚 欣哉

地区、分区に於ける役職一覧

氏名	役職	年度
鈴木 憲輔	ガバナー(279地区)	1978～1979
山本 靖郎	分区代理(第2分区)	1973～1974
佐々木義三	分区代理(第2分区)	1976～1977
溝上 敬介	分区代理(第11分区)	1984～1985
秋葉 義夫	分区代理(第11分区)	1987～1988
辻内 勝	分区代理(第11分区)	1992～1993
三井 晃	分区代理(第11分区)	1998～1999
浅野 正男	ガバナー補佐(第11分区)	2004～2005
渡邊 敏美	ガバナー補佐(第11分区)	2011～2012
内田 正	地区職業奉仕委員会	1992～1993
	地区職業奉仕委員会 委員長	1993～1995
飯生高一郎	地区青少年交換委員会 委員	2006～2008
	地区青少年交換委員会 委員長	2008～2010
	地区青少年交換委員会 委員	2010～2011
	地区RYLA委員会	2011～2012
遠藤 章雄	ロータリー平和フェローセンター12期カウンセラー	2013～2015
飯生高一郎	地区RLI推進委員会 委員	2015～2016
	地区RLI実行委員会 委員	2016～2017